

作成の目的

- 本邦では、統一した嚥下調整食の段階や名称がない
- 地域や施設ごとに多くの名称と段階がある
- 急性期病院から回復期病院、施設、在宅への連携が普及
- 病院、施設、在宅医療、福祉関係者の共通認識の必要性